（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	令和５年４月２０日（木曜日）　１１時１５分頃							天候	晴	
災害の程度	死亡　　名		負傷　１名		職種 伐採工		年令　４９才		経験年数２２年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

［件　　名］ バックホウ運転席から降りる際に手を滑らせ転落し、左足を受傷

［作業内容］ 伐採、集積

［発生状況］ バックホウの運転席から後ろ向きに降りる際、手摺を掴んでいた両手が滑って転落し、左足から地面に落ちて体勢を崩し左足を受傷した。

［被災程度］ 左脛骨腓骨骨幹部骨折、左足関節外果骨折

［服装・装備］ 安全帽、作業服上下、ヤッケ、林業用スパイク長靴、滑り止め付き手袋

原因及び対策

［発生原因］

・滑りやすい状態の手袋を着用していた。

・バックホウの乗降口を谷側に向け、バックホウが傾いた状態で駐機した。

［再発防止対策］

・バックホウを停車させる際は、極力平坦に駐機させる。

・やむを得ず傾斜地に駐機する場合、バックホウの乗降口を山側になるよう旋回させてから乗降する。

・バックホウへ乗降する際は、手元足元を目視で確認し慎重に乗降する。

・手袋に油脂等が付着し滑りやすい状態となった場合、油脂を除去、又は手袋を交換する。

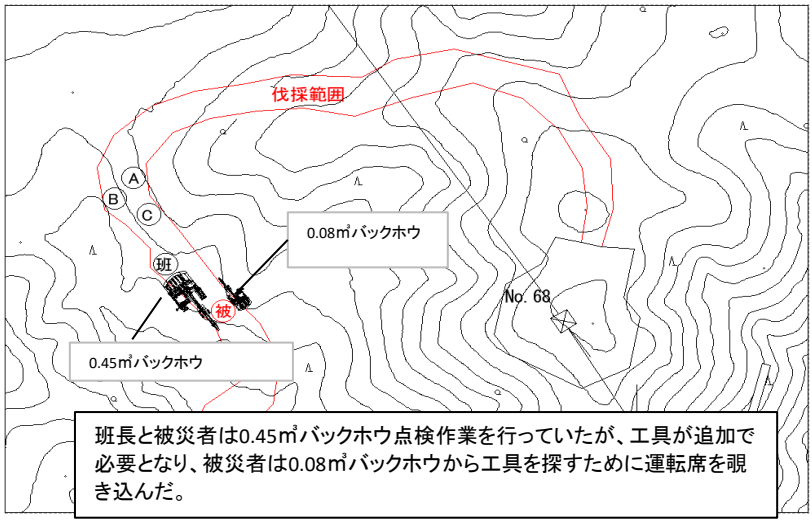
（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

災　害　概　要　図

人員配置



班長と被災者は0.45㎥バックホウ点検作業を行っていたが、工具が追加で必要となり、被災者は0.08㎥バックホウから工具を探すために運転席を覗き込んだ。

被 ・・・ 被災者

班 ・・・ 班長

A ～ C ・・・ 作業員

・・ バックホウ グラップル

発生状況

0.08㎥バックホウから後ろ向きで降りようとした。

手摺を掴んでいた両手が滑って転落し、左足から地面に落ちて体勢を崩し左足を受傷した。